

シーンⅣ－12 里山林健全化事業

事業目的

近年、広葉樹林のうち老齢林を中心に、カシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ被害」が拡大していることから、被害の早期発見と駆除を進め、重要な広葉樹林の整備を図ります。
また、三陸沿岸などの景勝地の松林において、枯損被害木等の材が林内に堆積され、景観を損ねている状況が見られることから、これら被害材をバイオマスとして有効活用することで修景整備を図ります。

事業効果

CO ₂ 削減効果	734 t-CO ₂
ナラ枯れ駆除量	1,779m ³

事業内容

平成27年度事業費 84,100千円

1 ナラ枯れ被害の駆除:被害木の駆除に対する補助 実施主体 市町村

【平成27年度】

事業量 1,779m³ 事業費 51,100千円

補助額 定額補助(標準単価以内)

2 里山林環境整備:松くい虫被害材活用及び松林再生 実施主体 宮城県

【平成27年度】

(被害材活用) 事業量 1,000m³ 事業費 30,000千円

(松林再生) 事業量 1,200本 事業費 3,000千円

現 状



管理が放棄され、荒廃が進行し、近年はナラ枯れ被害が深刻化しています。

税導入後のイメージ



被害木を早期に駆除することにより、被害のまん延を防止します。また景観の保全や公益的機能が維持されます。